

ウッドデッキとウッドフェンスに外構デザインをアレンジした現場紹介です。
外構工事全体を考えるとときの参考にして下さい。

ウッドフェンス

1. サラン材のウッドフェンス



住宅リビング前に、道路があり、交通量が多い場合、アルミフェンスやブロックで隠すと、目線は遮断出来ませんが、密閉感があり外構デザインとしても魅力無いものになります。

そこでウッドフェンスを活用し、目線は隠しますが空間は開かれたデザインを目指します。
ウッドフェンス自体もポイントでデザインを変えることによって変化があり、楽しく美しいエクステリアデザインになります。

エアコンの室外機も、ウッドフェンスで隠します。
フェンス下は、白系の砂利を敷き詰めて、全体の雰囲気をも明るくします。
砂利敷きの間には、ハーブ等の植栽やライトを埋め込んで変化を付けて、見る目を楽しませます。

明るく開放的な空間演出をしながら、目線は遮断するテクニックです。



室外機交換の際は、縦フェンスはビスで留まっていますから簡単にはずせません。
メンテナンスや、機種交換が発生しても心配いりません。
また、ハードウッドですから、室外機の熱風にさらされても大丈夫です。



2. ウッドフェンス・隣地境界が駐車場の場合



フェンスやデッキの下は、土のままでも良いですが、シートを敷いて、明るい色の砂利を敷いてはどうでしょうか。芝生を植える手も有りますが、ウッドデッキの茶色・砂利の白系の色・樹木の形状・植栽の緑が、狭い空間を楽しく演出します。
枯山水の文化を持つ日本ですから、芝生も良いですが、白系の砂利を敷き詰めるのは落ち着いた空間が出来て、大変上品になります。
是非試してみてください。



3. 門柱にウッドを活用する



門柱にウッドを活用する手も面白いです。
玄関前に写真のようなウッドフェンスを作成しそこに植栽を植え込んで、ライトアップしています。

門柱には、棚を作って、小さな植木ポットを置くのも良いと思います。
四季の変化に合わせて、玄関前がコーディネート出来るのも楽しいのでは……



ウッドフェンスも横貼りだけではなく、一部を立柱にするのも変化があって面白いです。
隙間が空きますが、採光性は良くなります。
後は植栽で目隠しすれば、開放的なフェンスが出来上がります。

施工前こんな感じでした。



隣地境界が駐車場の場所も多いです。人の出入りも多くなりますから気になりますね。
そんなときには、縦貼りのウッドフェンスに、オリーブやシマトリネコの樹木を植える手があります。
フェンスと、樹木の合わせ技でね駐車場からの目線カットに役立ってます。レモンやミカンの木も面白いです。

ガーデンデザイン

1. ガーデンデザイン

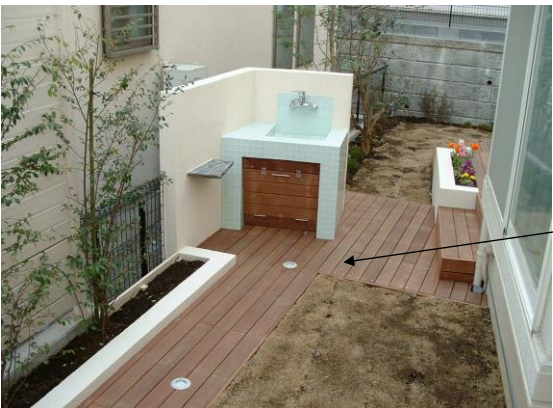


シンプル&モダンなデザインです。
ブロック壁面とウッドの直線をうまく絡めています。
デッキの高さは三段になって、
全体に変化を付けています。



また、床面にLEDのライトを埋め込んで
夜間照明になっています。
大変美しいと思います。

芝生はまだ茶色ですが、もう少しすれば
芝生の緑が映えて、美しい庭になりますね。



ライト



2. イペ材のデッキ



イペ材のデッキです。
最近ではラチスフェンスも減りましたが
作るとなかなか良いものです。



3. ハイデッキ



マサラン材のハイデッキです。

フェンス部分の窓は
わんちゃんのための窓です。

家の側面にはパーゴラを作りました。



デッキ下部のデザイン

